

テーマ「イエスの思いを受け止め、自分の生き方にあてはめる」

福音書を読み解きながら

福音書は「教科書」のような書物ではありません。キリスト教の教えを体系的に学び、教えるために、使い勝手の良い書き方もしていません。しかし、そこにはイエスの生き方や教えが生き生きと描かれています。イエスは人々に語る時、しばしば聴衆の日常生活に触れる題材を取り上げ、彼らの喜怒哀楽に訴え、みずからの生活に当てはめられるように語られました。その最たるものがイエスの「たとえ話」と言えるでしょう。そこで、今年度の研修会はイエスの「たとえ話」を取り上げ、イエスの思いに触れたいと思います(澤田豊成神父)。

◆ 年間スケジュール (年間9回)

- ・「養成塾」(17時～)と重なっている日もありますので、両方への出席が可能です。
- ・各回の内容は予定です。参加者のご希望なども考慮しながら変更になる可能性があります

	内容	実施日
1	「たとえ」という教え方(「種を蒔く人のたとえ」マルコ4・3-9)	6月13日(土)
2	「毒麦のたとえ」とその説明(マタイ13・24-30、36-43)	7月11日(土)
3	「善いサマリア人のたとえ」(ルカ10・25-37)	9月5日(土)
4	「憐れみの三つのたとえ」①(ルカ15・1-32)	10月17日(土)
5	「憐れみの三つのたとえ」②(ルカ15・1-32)	11月28日(土)
6	「仲間をゆるさない家来のたとえ」(マタイ18・21-35)	12月19日(土)
7	「ぶどう園の労働者のたとえ」(マタイ20・1-16)	1月16日(土)
8	「ファリサイ派の人と徴税人のたとえ」(ルカ18・9-14)	2月20日(土)
9	「タラントンのたとえ」(マタイ25・14-30)	3月13日(土)

- ◆ 指導： 澤田 豊成神父(聖パウロ会)
- ◆ 会場： 決定次第、参加申込者にお知らせします。
- ◆ 時間： 15時～16時45分
- ◆ 会費： お一人 年間3,000円